

SHOW HEY シネマール

★★★

トランスフォーマー 最後の騎士王

2017年・アメリカ映画
配給/東和ピクチャーズ・149分

2017 (平成29) 年8月19日鑑賞

TOHOシネマズ西宮OS

Data

監督: マイケル・ベイ

出演: マーク・ウォール/バーグ/ロ
ーラ・ハドック/ジョシュ・
デュアメル/ジョン・タトゥ
ーロ/スタンリー・トゥッチ
/イザベラ・モナー/アンソ
ニー・ホプキンス/サンティ
アゴ・カブレラ/ジェロッ
ド・カーマイケル

■ショートコメント■

◆本作は、『トランスフォーマー』シリーズの第5作で、近未来SFアクション大作のはずだが、冒頭なぜかイングランドを舞台とした中世の騎士たちの闘いが登場。その迫力はなかなかのものだが、そこで一人奇妙な騎士が要請すると、そこに一体のトランスフォーマーが登場してくるからアレレ……。なるほどこんな作りだから、本作のサブタイトルは「最後の騎士王」……。

それはそれでわかるのだが、ストーリーが進むにつれて、一人一人（一体一体？）のトランスフォーマーの名前とキャラがあることがわかってくるが、私にはさっぱり……。また、第1作から第4作までの全体的なストーリーと本作のストーリーとの関連性も私にはさっぱり……。

◆『スターウォーズ』シリーズのファンと同じように、『トランスフォーマー』シリーズのファンは複雑なストーリーと多種多様な登場人物をすべて把握しながら、その壮大な世界観を楽しんでいるはずだが、もともと両者ともにあまり興味のない私には、今更『トランスフォーマー』全5作の理解はとても無理。

本作のチラシには、次のように書かれている。

オプティマス vs バンブルビー、衝撃の決戦が始まる!?

オプティマスのない地球では、凶悪なメガトロンが蘇り、強力な軍団を形成。
バンブルビーはオートボットのリーダーとなり、人類と共に抵抗するも苦戦していた。
そこにオプティマスが帰還。だが彼の様子がおかしい。
眼から不気味な光を放ち、「ダーク・オプティマス」とも言うべき姿に。
全人類の前に立ちふさがる地球の破壊者となった“守護神”にバンブルビーが戦いを挑む!

地球史を覆すミステリーが解明された時、 世界は闇に包まれる!?

人間が文明を築く太古の昔より、異世界からの来訪者たちは地球に干渉し続けていた。最新作ではストーンヘンジの巨石群やアーサー王と円卓の騎士伝説などの古代ミステリーを題材に、私たちの知る歴史を覆す、想像を超えた物語が展開する! 歴史の裏に隠された謎が解かれた時、世界はどうなるのか? そして、タイトルにある「最後の騎士王」とは——

新3部作第1弾、 究極の「トランスフォーマー」が誕生!

監督は最先端CGとド派手なアクションで観る者を圧倒する、破壊王マイケル・ベイ。キャストはマーク・ウォールバーグ、ジョシュ・デュアメルに加え、名優アンソニー・ホプキンスも参戦! トランスフォーマーも新たなマスコットのキャラ、ディセプティコンの戦士が続々登場。新旧シリーズが入り乱れる、究極の「トランスフォーマー」が誕生する! CGIに慣れて感覚が麻痺した現代人を本気で驚かせた第1作から10年——。映像革命シリーズの進化を、2017年夏、見逃すな!

人類の命運を揺るがす、 トランスフォーマーの“創造主”が出現!

地球上のあらゆるテクノロジーをスキャンする金属生命体トランスフォーマー。彼らの起源は謎の異星人たちにあった——。 “創造主”と呼ばれる異星人たちは、惑星サイバトロンの再生と地球侵略を計画。それを食い止めるべく一人旅立ったオプティマスは消息を絶ってしまう。宇宙の彼方でなにが起きているのか? “創造主”の正体と、真の目的が明かされる!

これを読めば一見なるほどと思ったが、実はチンプンカンプン・・・。それ以上学習意欲のない私には本作の評論はととても無理なので、これにて終了。

2017（平成29）年8月21日記